西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和３年６月２８日　No. 7
園　長　安藤賢治

育った！ キアゲハ　育て！ 子どもたち

○ ６月の上旬、なでしこ組がにぎやかでした。生活支援員の五十川先生が、自宅から「あおむし」を持ってみえたのです。みつばの葉に数匹のあおむし。「この あおむしは、何の幼虫？」「きっと、キアゲハじゃない？」「だったら、うれしいね。」わくわくです。田中先生が、さっそく、虫かごに入れて、図鑑から「キアゲハの卵→幼虫→さなぎ→成虫」や「飼い方」をコピーして虫かごの隣に設置しました。園児は、毎日のぞき込んでは、葉っぱを食べたりウンチをしたりする様子を観察していました。ある日、「園長先生、さなぎになったよ。」と教えてくれました。なんと、５個。「あおむしは、どこに？」と聞くと「あおむしは、さなぎになったの。」と教えてくれました。

幾日か過ぎた朝でした。「来て、来て！」と腕を引っ張られてついていくと、２匹の羽化した“キアゲハ”。 きらきらした瞳を見て、うれしくなりました。後日、残りの３匹も無事に羽化して、逃がしてあげるときは、皆で見届けました。田中先生の手に乗り移したキアゲハが、なかなか飛び立たないので、不思議でした。

＊　　＊　　＊

■以前、聞いたお話を思い出しました。

ある日少年が外で遊んでいると、木の葉に「まゆ（さなぎ）」が付いているのが見えた。少年は、その「さなぎ」を部屋に持ち帰った。数日後、チョウが「まゆ」を破って外に出ようと苦闘し始めた。長くて厳しい戦いだった。

少年には、チョウが「まゆ」の中に閉じ込められているように見えた。チョウの動きが止まったことを心配した少年は、ハサミで「まゆ」を切ってやって、チョウが出てくるのを手助けした。

しかし、助け出されたそのチョウは、翼が広がらず飛ぶことができなくて、ただ這い回るだけだった。

本来なら、「まゆ」の小さな穴から苦闘しながら出ることによって、体液が翼まで行き渡り、チョウは飛べるようになるはずだった。

○ じっと待つこと，見守ること…。周りの大人が，考えて実行しなくてはいけません。なかなか難しいことです。どのタイミングで手助けするのか。大人がやってしまった方が，ずっと早く上手にできるかもしれませんが，それでは，子どもたち自身の力は，育ちません。かといって，何でも任せて放任するのは 無責任です。

＊苦しいけれど，ここは じっと見守るとか，相談に乗るとか，
温かく励まし続けたいものです。

～今の苦労（苦闘）は，必ず成長させてくれるはずだから～
「踏ん張って 頑張りぬいてほしい」　メッセージを心に届けていきたいですね。

生 活 体 験

～体験した保護者のお声～
（抜粋）

参加者（２４名）

先生のお話を座って聞いたり、楽しそうに手遊びに参加している姿から、園生活が息子にとって、良い刺激になっていることが伝わってきました。まだ、身辺のことを一人でできなかったり指示が通らなくて行動に移せなかったりする課題もたくさんありますが、楽しみながら少しずつ成長してくれればと思っています。（たんぽぽ）

本の読み聞かせは、初めてだったので上手くできたかわかりませんが、みんな静かにこちらを向いて聞いてくれて、とても嬉しかったです。本当に、みんなそれぞれ違って面白いなと思いました。とても良い経験をさせていただきました。（たんぽぽ）

子供たちがいっぱい絵本読んで!とか、一緒に遊ぼ!と言ってくれたのがとても嬉しかったです。給食もいつもは静かに待ってられるとか、ご飯も残さず食べられる子もいて、とても成長している姿を見れて良かったです。先生方の子供たちへの接し方を見れて参考になる事も多々ありました。（ひまわり）

コロナ禍で昨年から幼稚園での子供の様子をなかなか分からなかったので、見ることができてよかったです。一人の子が泣いていると、気づいた他の子達がなぐさめに行ったり、数人で仲良く絵本を読んだりとほほえましく、年中さんになったんだと感じました。（ひまわり）

先生方の子供たちに対する対応は、均等に接しており素晴らしいと感じました。特に、給食中、ある子がおかずをこぼした際の対応が良かったです。「こぼした子に、自分で拾って片づけを促した」これは、子供たちの自主性、責任を持たせるために必要だと思います。
強いて言えば、子供たちを叱るときは、強めに対応した方が良いかと思います。（なでしこ）

私の顔を見て、「〇〇ちゃんのお母さんだぁ」とかわいらしく話しかけられてとっても嬉しかったです。我が子の園での生活を身近で見させて頂きありがたい体験でした。
反省点は、紙しばいかパネルシアターを持って行こう!と前日まで考えていたのですが…。思いきって持って行けば良かったなぁと思いました。（たんぽぽ）

子供がどの程度自分でできるのかを確認でき、成長を感じることができました。一人ひとり自分のペースで決められたことをやる姿は、見ていてとてもかわいいなぁと思いました。
先生たちの子どもに合わせた対応もすごいと思いました。（たんぽぽ）

自分の子供だけでなく、他の子供とも絵本を読んであげたり、外遊びをしたりと自分自身も楽しめました。
先生方も常に子供たちに注意を払っていて大変だなと思います。（ひまわり）

園でのルールを守って、お友達と元気に遊ぶ子供たちの様子を見ることができました。普段の家での様子と違う姿を見られ、貴重な機会となりました。コロナ禍ではありますが、消毒や手洗いなど、先生方の指導を守る子供たちの様子を見て、安心して登園させることができると改めて思いました。（なでしこ）

～ご理解と ご協力
ありがとうございました～